

2014年8月8日

平成26年度 第1四半期業績のお知らせ

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上プライマリー生命保険株式会社(社長:北川鉄夫)の平成26年度第1四半期(平成26年4月1日~平成26年6月30日)の業績についてお知らせします。

【収入保険料】

引き続き販売が好調な外貨建て定額終身保険に加え、変額終身保険の売上げ伸長、定額個人年金保険の新商品の発売等により、収入保険料は前年同期比86.2%増の2,267億円と、第1四半期としては開業以来最高の実績となりました。(グラフ1参照)

【契約および総資産の状況】

保有契約件数は前年度末比5.1%増の568千件、保有契約高は前年度末比3.8%増の4兆1,772億円と順調に増加しました。(グラフ2参照)

これに伴い、総資産は前年度末から3.7%増加し4兆3,194億円となりました。

【損益の状況】

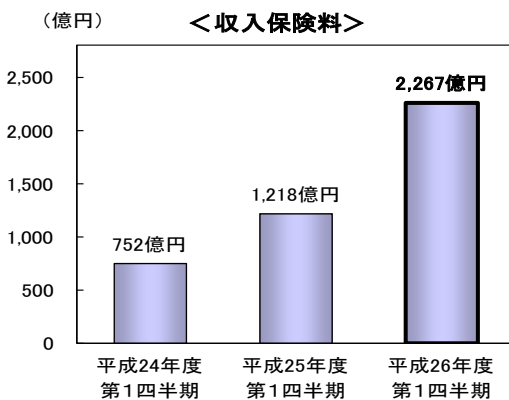
好調な販売により代理店手数料をはじめとする事業費が増加したことや、豪ドル金利の低下に伴い外貨建て定額終身保険の責任準備金負担が増加したこと等により、四半期純利益(税引後)は前年同期比54億円減の8億円となりました。

【健全性の状況】

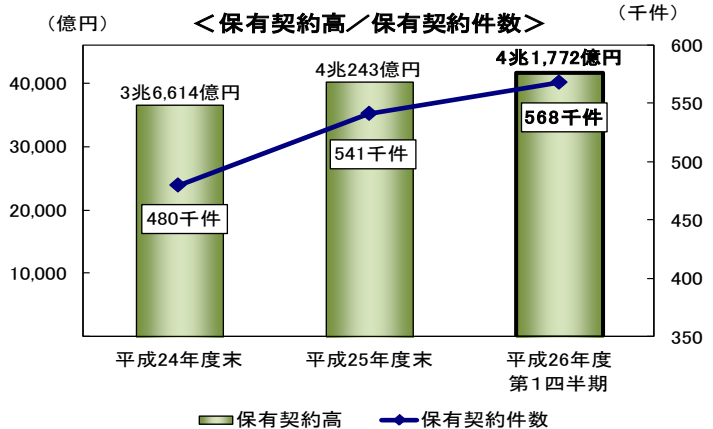
ソルベンシー・マージン比率は897.6%となり、十分な支払余力を維持しています。また、格付会社からは引き続き高い格付けを取得しています。(平成26年8月8日現在)

スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)	保険財務力格付け	A+
格付投資情報センター(R&I)	保険金支払能力格付け	AA-

(グラフ1)



(グラフ2)



以上

平成 26 年 8 月 8 日
三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

平成 26 年度第 1 四半期報告

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社（社長 北川 鉄夫）の平成 26 年度第 1 四半期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）の業績は添付のとおりです。

<目 次>

1. 主要業績	……	1 頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……	2 頁
3. 四半期貸借対照表	……	4 頁
4. 四半期損益計算書	……	5 頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……	7 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……	8 頁
7. 特別勘定の状況	……	9 頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……	9 頁

以 上

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高 (単位：千件、億円、%)

区 分	平成25年度末		平成26年度 第1四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数		金 額	
			前年度 末比	前年度 末比	前年度 末比	前年度 末比
個人保険	175	10,734	208	118.7	12,549	116.9
個人年金保険	365	29,509	360	98.6	29,222	99.0
団体保険	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資（ただし、個人変額年金保険については保険料積立金）と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・新契約高 (単位：千件、億円、%)

区 分	平成25年度 第1四半期累計期間				平成26年度 第1四半期累計期間					
	件 数	金 額		件 数	前年 同期比	金 額		転換による 純増加		
		新契約	転換による 純増加			前年 同期比	新契約			
個人保険	14	802	802	—	33	231.7	1,810	225.6	1,810	—
個人年金保険	5	353	353	—	6	114.3	377	106.9	377	—
団体保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資（ただし、個人変額年金保険については契約時の保険料積立金）です。

(2) 年換算保険料

・保有契約 (単位：百万円、%)

区 分	平成25年度末	平成26年度 第1四半期 会計期間末	
		前年度 末比	前年度 末比
個人保険	70,148	81,651	116.4
個人年金保険	384,155	382,373	99.5
合 計	454,303	464,025	102.1
うち医療保障・ 生前給付保障等	105	104	99.2

・新契約 (単位：百万円、%)

区 分	平成25年度 第1四半期累計期間	平成26年度 第1四半期累計期間	前年 同期比
			前年 同期比
個人保険	5,288	11,957	226.1
個人年金保険	28,519	33,217	116.5
合 計	33,808	45,174	133.6
うち医療保障・ 生前給付保障等	—	—	—

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。

2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	平成25年度末		平成26年度 第1四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	44,319	2.7	48,339	2.8
買現先勘定	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-
商品有価証券	-	-	-	-
金銭の信託	680,806	42.2	682,487	39.0
有価証券	796,831	49.4	927,121	52.9
公 社 債	133,591	8.3	118,320	6.8
株 式	-	-	-	-
外 国 証 券	663,237	41.1	808,798	46.2
公 社 債	663,237	41.1	808,798	46.2
株 式 等	-	-	-	-
その他の証券	1	0.0	1	0.0
貸付金	448	0.0	412	0.0
不動産	298	0.0	286	0.0
繰延税金資産	34,002	2.1	33,924	1.9
その他	55,348	3.4	58,492	3.3
貸倒引当金	-	-	-	-
合 計	1,612,056	100.0	1,751,064	100.0
うち外貨建資産	1,365,254	84.7	1,509,014	86.2

（注）不動産については有形固定資産のうち建物の金額を計上しております。

(2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	平成25年度末					平成26年度 第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差損益			帳簿価額	時価	差損益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
責任準備金対応債券	748,486	745,075	△ 3,410	4,025	△ 7,435	911,859	948,403	36,544	37,378	△ 834
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の有価証券	132,522	133,593	1,070	1,079	△ 8	116,998	118,322	1,324	1,326	△ 2
公社債	132,521	133,591	1,069	1,078	△ 8	116,997	118,320	1,323	1,325	△ 2
株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外国証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株式等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	1	1	0	0	-	1	1	0	0	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	881,008	878,669	△ 2,339	5,104	△ 7,443	1,028,858	1,066,726	37,868	38,705	△ 837
公社債	132,521	133,591	1,069	1,078	△ 8	116,997	118,320	1,323	1,325	△ 2
株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外国証券	663,237	659,756	△ 3,481	3,954	△ 7,435	808,798	843,276	34,478	35,312	△ 834
公社債	663,237	659,756	△ 3,481	3,954	△ 7,435	808,798	843,276	34,478	35,312	△ 834
株式等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	1	1	0	0	-	1	1	0	0	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	85,248	85,319	70	70	-	103,061	105,127	2,065	2,065	-

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 金銭の信託のうち売買目的有価証券以外のものを含み、その帳簿価額、差損益は、それぞれ、平成25年度末は85,248百万円、70百万円、平成26年度第1四半期会計期間末は103,061百万円、2,065百万円です。

なお、時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は保有しておりません。

(3) 金銭の信託の時価情報

(単位：百万円)

区 分	平成25年度末				平成26年度第1四半期会計期間末			
	貸借対照表 計上額	時 価	差損益		貸借対照表 計上額	時 価	差損益	
			差益	差損			差益	差損
金 銭 の 信 託	680,806	680,877	70	70	682,487	684,553	2,065	2,065

・運用目的の金銭の信託

(単位：百万円)

区 分	平成25年度末		平成26年度第1四半期会計期間末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた 評 価 損 益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた 評 価 損 益
運 用 目 的 の 金 銭 の 信 託	595,558	△ 8,578	579,426	8,136

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

(単位：百万円)

区 分	平成25年度末				平成26年度第1四半期会計期間末			
	帳簿価額	時 価	差損益		帳簿価額	時 価	差損益	
			差益	差損			差益	差損
満期保有目的の 金 銭 の 信 託	-	-	-	-	-	-	-	-
責任準備金対応の 金 銭 の 信 託	85,248	85,319	70	70	103,061	105,127	2,065	2,065
その他の金銭の 信 託	-	-	-	-	-	-	-	-

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成25年度末 要約貸借対照表 (平成26年3月31日現在)	平成26年度 第1四半期会計期間末 (平成26年6月30日現在)
		金 額	金 額
(資産の部)			
現金及び預貯金		40,523	29,529
コールローン		7,191	21,357
金銭の信託		680,806	682,487
有価証券		3,350,422	3,497,159
(うち国債)	(131,735)	(113,923)
(うち地方債)	(1,856)	(1,870)
(うち社債)	(-)	(2,526)
(うち外国証券)	(663,237)	(808,798)
貸付金		448	412
保険約款貸付		448	412
有形固定資産		945	895
無形固定資産		3,696	3,708
再保険貸付		269	201
その他の資産		45,368	49,816
繰延税金資産		34,002	33,924
資産の部合計		4,163,675	4,319,493
(負債の部)			
保険契約準備金		3,993,094	4,158,322
支払準備金		10,819	9,408
責任準備金		3,982,275	4,148,913
代理店借借		7,075	5,502
再保険借借		2,552	2,645
その他の負債		31,610	24,249
未払法人税等		1,711	-
リース債務		688	652
資産除去債務		125	125
その他の負債		29,085	23,470
価格変動準備金		40,136	40,515
負債の部合計		4,074,470	4,231,234
(純資産の部)			
資本剰余金		41,060	41,060
資本剰余金		24,735	24,735
資本準備金		24,735	24,735
利益剰余金		22,669	21,547
利益準備金		-	399
その他の利益剰余金		22,669	21,147
繰越利益剰余金		22,669	21,147
株主資本合計		88,464	87,342
その他の有価証券評価差額金		741	916
評価・換算差額等合計		741	916
純資産の部合計		89,205	88,258
負債及び純資産の部合計		4,163,675	4,319,493

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	平成25年度 第1四半期累計期間 〔平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで〕	平成26年度 第1四半期累計期間 〔平成26年4月1日から 平成26年6月30日まで〕
	金 額	金 額
経 常 収 益	294,335	310,190
保 険 料 等 収 入	122,878	227,277
(うち保 険 料)	(121,816)	(226,773)
資 産 運 用 収 益	102,439	80,854
(うち利息及び配当金等収入)	(385)	(8,482)
(うち金銭の信託運用益)	(-)	(14,771)
(うち有価証券売却益)	(0)	(0)
(うち特別勘定資産運用益)	(102,053)	(55,505)
そ の 他 経 常 収 益	69,017	2,058
(うち支払備金戻入額)	(1,174)	(1,410)
(うち責任準備金戻入額)	(67,243)	(-)
経 常 費 用	284,580	309,247
保 険 金 等 支 払 金	236,130	124,799
(うち保 険 金)	(14,241)	(13,328)
(うち年 金)	(11,639)	(13,746)
(うち給 付 金)	(49,110)	(35,876)
(うち解 約 返 戻 金)	(153,792)	(53,275)
(うちそ の 他 返 戻 金)	(276)	(758)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	-	166,638
責 任 準 備 金 繰 入 額	-	166,638
資 産 運 用 費 用	38,232	175
(うち支 払 利 息)	(0)	(0)
(うち金銭の信託運用損)	(35,951)	(-)
(うち金融派生商品費用)	(-)	(136)
事 業 費 用	9,193	15,546
そ の 他 経 常 費 用	1,024	2,086
経 常 利 益	9,754	943
特 別 損 失	228	380
固 定 資 産 等 処 分 損	1	1
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	227	378
税 引 前 四 半 期 純 利 益	9,525	563
法 人 税 等	3,225	△ 314
四 半 期 純 利 益	6,299	877

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

平成26年度第1四半期会計期間末

1. 四半期特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、主として、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない差異の金額が重要な場合にはその金額を加減した上で法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の貸借対照表価額は30,260百万円であります。

3. 配当金支払額

平成26年5月16日の取締役会において、以下のとおり決議しております。

配当金の総額 1,999百万円

1株当たり配当額 151,973円71銭

基準日 平成26年3月31日

効力発生日 平成26年6月6日

(四半期損益計算書関係)

平成26年度第1四半期累計期間

- 1株当たりの四半期純利益は66,674円18銭であります。なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成25年度 第1四半期累計期間	平成26年度 第1四半期累計期間
基礎利益 A	16,822	△ 1,183
キャピタル収益	40,696	9,120
金銭の信託運用益	-	7,025
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	0	0
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	2,094
その他キャピタル収益	40,695	-
キャピタル費用	47,175	2,997
金銭の信託運用損	45,004	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	-	-
有価証券評価損	-	-
金融派生商品費用	-	136
為替差損	2,171	-
その他キャピタル費用	-	2,861
キャピタル損益 B	△ 6,479	6,122
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	10,342	4,939
臨時収益	-	-
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	-
個別貸倒引当金戻入額	-	-
その他臨時収益	-	-
臨時費用	588	3,995
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	588	3,995
個別貸倒引当金繰入額	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	△ 588	△ 3,995
経常利益 A+B+C	9,754	943

（注）1. 基礎利益には、次の金額が含まれております。

	平成25年度 第1四半期 累計期間	平成26年度 第1四半期 累計期間
金銭の信託運用益のうちインカムゲイン部分	9,052	7,746
定額商品の負債にかかる評価部分調整額	△ 40,695	2,861

2. その他キャピタル収益には、次の金額が含まれております。

	平成25年度 第1四半期 累計期間	平成26年度 第1四半期 累計期間
定額商品の負債にかかる評価部分調整額	40,695	-

3. その他キャピタル費用には、次の金額が含まれております。

	平成25年度 第1四半期 累計期間	平成26年度 第1四半期 累計期間
定額商品の負債にかかる評価部分調整額	-	2,861

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成25年度末	平成26年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	347,258	331,328
資本金等	86,464	87,342
価格変動準備金	40,136	40,515
危険準備金	64,460	68,456
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	963	1,191
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	146,219	124,419
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	-	-
持込資本金等	-	-
控除項目	-	-
その他	9,013	9,403
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	69,128	73,818
保険リスク相当額 R1	62	59
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	13	12
予定利率リスク相当額 R2	26,207	29,771
最低保証リスク相当額 R7	11,581	10,229
資産運用リスク相当額 R3	29,982	32,368
経営管理リスク相当額 R4	1,356	1,448
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,004.6%	897.6%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2. 最低保証リスク相当額の算出に関しては、標準的方式を用いております。

<参考>実質資産負債差額

(単位：百万円)

項 目	平成25年度末	平成26年度 第1四半期 会計期間末
(1)資産の部に計上されるべき金額の合計額	4,160,265	4,356,037
(2)負債の部に計上されるべき金額の 合計額を基礎として計算した金額	3,823,323	3,997,435
実質資産負債差額 (1)-(2)	336,941	358,602

(注) 上記は、保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令及び平成11年金融監督庁・大蔵省告示第2号の規定に基づいて算出しております。

7. 特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	平成25年度末		平成26年度 第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険		128,718		154,646
個人変額年金保険		2,430,283		2,418,665
団体年金保険		-		-
特別勘定計		2,559,002		2,573,311

(2) 保有契約高

・個人変額保険

(単位：千件、百万円)

区 分	平成25年度末		平成26年度 第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険（有期型）	-	-	-	-
変額保険（終身型）	13	136,814	18	162,971
合 計	13	136,814	18	162,971

・個人変額年金保険

(単位：千件、百万円)

区 分	平成25年度末		平成26年度 第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	285	2,422,386	283	2,412,957
合 計	285	2,422,386	283	2,412,957

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

(添付)

2014年8月8日

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

平成26年6月末時点について、金融安定化フォーラム（FSF）の報告書に示された先進的開示例に基づき、証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況について開示いたします。

なお、以下に記載の実現損益は、平成26年4月～平成26年6月の損益です。

【投資状況】

1. 特別目的事業体（SPEs）一般

特別目的事業体（SPEs）への投資はありません。

2. 債務担保証券（CDO）一般

債務担保証券（CDO）への投資はありません。

3. その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー

サブプライム・Alt-A エクスポージャーを裏付資産とした証券化商品等への投資はありません。

4. 商業用不動産担保証券（CMBS）

(単位：億円)

	格付	時 価		含み損益	実現損益
			参考：平成26年3月末		
商業用不動産担保証券（CMBS）		41.0	42.4	—	△1.0
日本		—	—	—	—
米国		41.0	42.4	—	△1.0
AAA		38.9	30.5	—	△1.0
AA		2.1	11.9	—	△0.1
A		0.0	0.0	—	0.0
BBB以下		0.0	0.0	—	0.0
欧州		—	—	—	—
豪州		—	—	—	—
その他		—	—	—	—

- 裏付資産は米国の商業用不動産（オフィス、商業施設、倉庫、賃貸住宅、ホテル等）です。
- 上記は売買目的有価証券に区分しているため、評価損益はすべて実現損益に含まれますので、含み損益はありません。なお、上記の実現損益のうち、当年度の現地通貨ベースでの評価損益は△0.4億円、為替の変動に係る評価損益は△0.6億円です。（当該資産は外貨建て定額年金保険に対応する運用資産の一部であり、ALM上、資産側と負債側の通貨をマッチングさせていることから為替に係る評価損益は相殺される構造となっており、当年度損益への大きな影響はありません。）

5. レバレッジド・ファイナンス

レバレッジド・ファイナンスへの投資はありません。

6. その他

(単位：億円)

	格 付	時 価		含み損益	実現損益
			参考：平成26年3月末		
その他		66.8	68.2	—	△1.4
ABS (カードローン・自動車ローン担保等)		61.2	62.6	—	△1.4
	AAA	61.2	62.6	—	△1.4
	AA	—	—	—	—
	A	—	—	—	—
	BBB以下	—	—	—	—
MBS (住宅ローン担保等)		5.7	5.6	—	0.0
	AAA	5.7	5.6	—	0.0

- ・ サブプライムローン関連のエクスポージャーはありません。
- ・ 上記は売買目的有価証券に区分しているため、評価損益はすべて実現損益に含まれますので、含み損益はありません。なお、上記の実現損益のうち、当年度の現地通貨ベースでの評価損益は△0.4 億円、為替の変動に係る評価損益は△0.9 億円です。(当該資産は外貨建て定額年金保険に対応する運用資産の一部であり、ALM 上、資産側と負債側の通貨をマッチングさせていることから為替に係る評価損益は相殺される構造となっており、当年度損益への大きな影響はありません。)

※上記の時価の金額は、当社の貸借対照表上の「金銭の信託」に含まれている金額です。

※上記の実現損益の金額は、当社の損益計算書上の「金銭の信託運用益」に含まれている金額です。

※投資信託については開示対象から除いております。

以 上